

辻敬之

訂正
増補

読本階梯

全

検



B 3

3151



訂正
增補
讀本
階梯
辻教之著
全

272
336

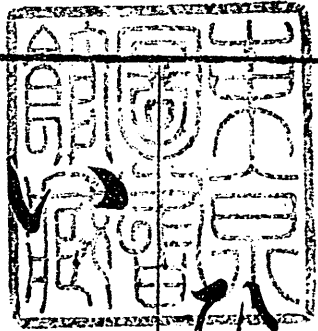
大日本教育會館
二
六函
三架
九號
一册

K110,8
105
70

訂正
増補
讀本階梯



辻
敬之
著



へ
こ
ち
り
ぬ
に
ほ

訂正讀本階梯

全書及今

る	を	わ	か	よ	た	れ	り	つ	ね	な	ら	む	う	あ	の	た	く	や	ま	け	ふ	こ	ね	て	あ	さ	ま	ゆ	め	み	し	ゑ	ひ	も	せ	す	ん
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

カタカナ

ア イ ウ エ オ

カ キ ク ケ コ

サ シ ス セ ソ

タ チ ツ テ ト

ナ ニ ヌ 子 ノ

ハ ヒ フ ヘ ホ

マ ミ ム メ モ

ヤ イ エ ヨ

ラ リ ル レ ロ

ワ 井 ウ エ ヲ

ン

あはせ

戌 戌 ㄗ ㄞ

だくたんのかたかな

ガ キ グ ゲ ゴ

ガ ジ ズ セ ズ

グ チ ツ テ ド

バ ビ ブ ベ ホ

だくたん の ひらがな

カ キ ク ケ コ

サ シ ス セ ソ

タ チ ツ テ ト

ハ ヒ フ ベ ホ

トせねんのかたかな

ハ。ヒ。フ。ヘ。ホ。

トせねんのひらがな

は。ひ。ふ。へ。ほ。

わくりど

あ。や。ひ。

い。よ。ま。な。が。

さ。た。ま。ち。お。べ。

すうど


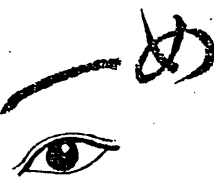

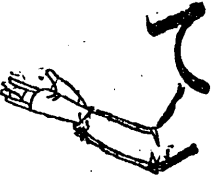




一 二 三 四 五
六 七 八 九 十
百 千 万 億

へんたいいちは

以 後 十 子 不 屋
少 子 里 如 海 越
又 十 七 七 七

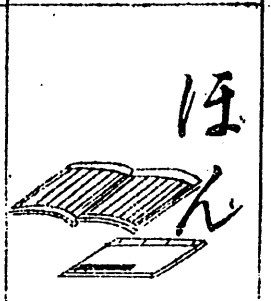
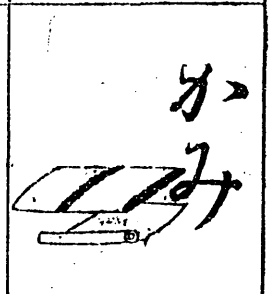
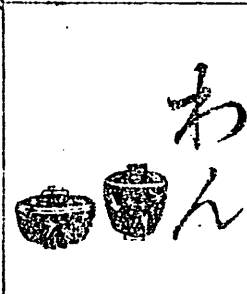
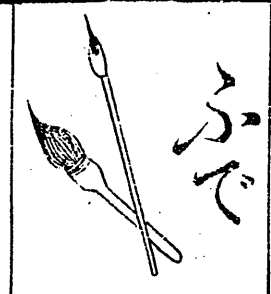
法祿赤了望字
 井乃お久屋清
 市始末之と阿
 寺地内免と志
 直元之勢是

たんごたい

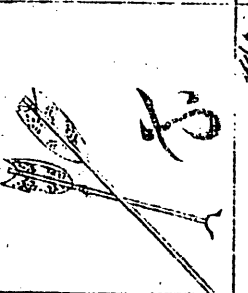
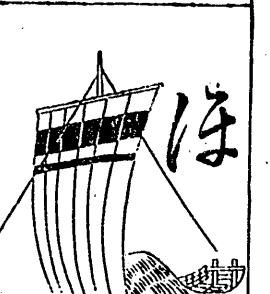
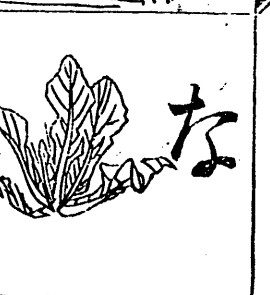
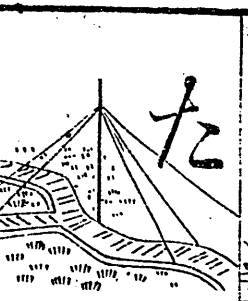
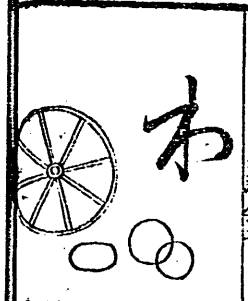
	き 
	め 
	ね 
	み 


訂正讀本階梯

増補讀本階梯

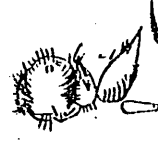




たんごだい二





	まめ		いね
---	----	---	----


	なす		むぎ
---	----	---	----


	いも		あは
---	----	---	----


	ねぎ		きび
--	----	--	----

	はす		ひね
---	----	---	----


たんど だい三


	ゆび
---	----


	かさ
---	----

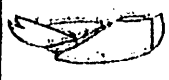
	かま
---	----

	つめ
---	----


	げた
---	----


	なべ
---	----


	あし
--	----

	たび
--	----

	をけ
--	----

	ひざ
---	----

	たび
---	----

	みの
---	----

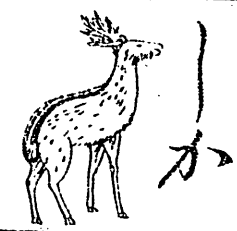
同正賣本指第



くま



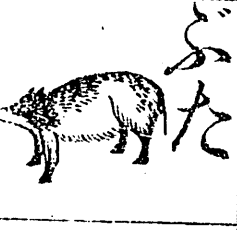
うし



しか



うま



ぶた



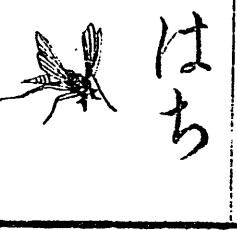
いぬ



せみ



ねこ



はち



さる

十一 普及全蔵版

たんど だい四

増補言ノ附本



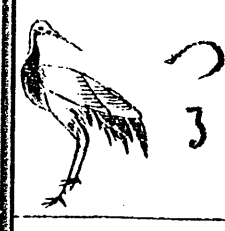
かも



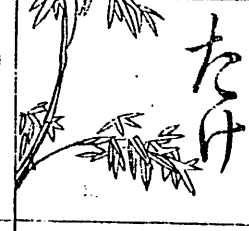
まつ



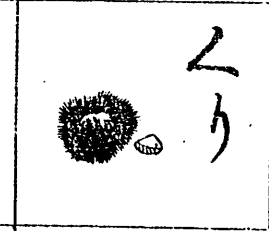
もも



つる



たけ



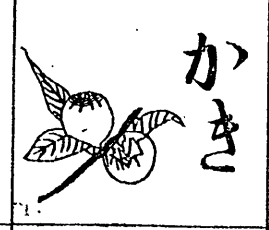
くり



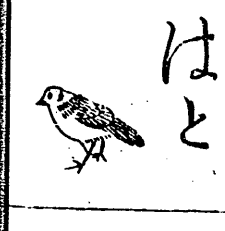
さぎ



うめ



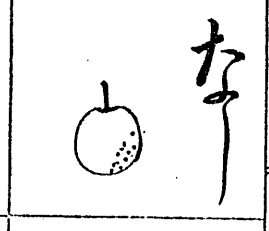
かき



はと



きく



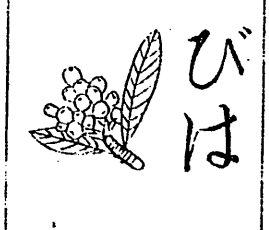
だい



きん



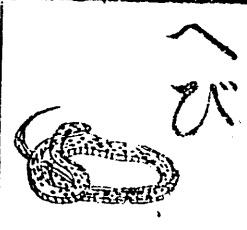
かん



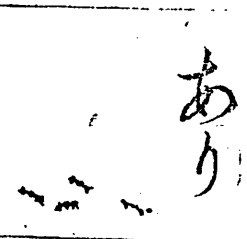
びは

普及全蔵版

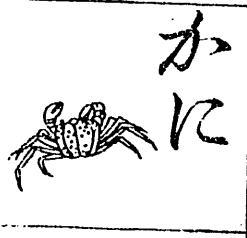
増補言大...
...
...



へび



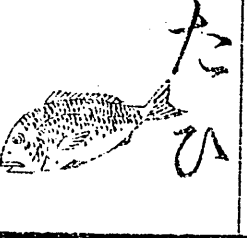
あり



かに



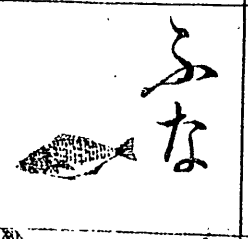
かめ



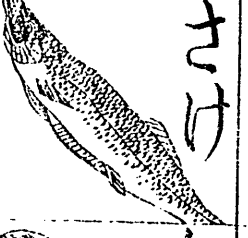
たひ



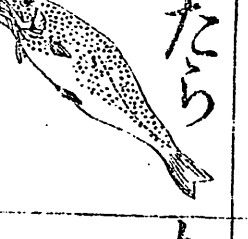
こひ



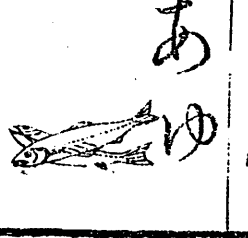
ふな



さけ



たら



あゆ



ぼら



いな



たこ

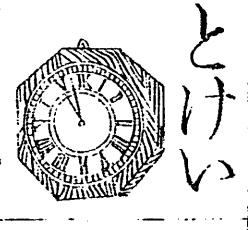


いか

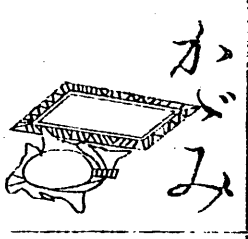


ebi

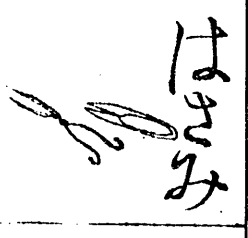
たんご
たい五



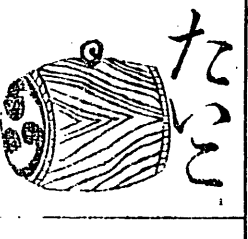
とけい



かぐみ



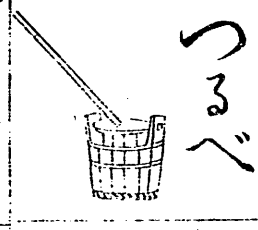
はさみ



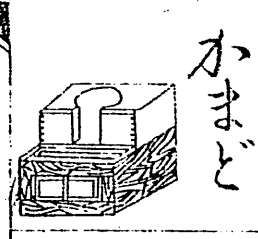
たいこ



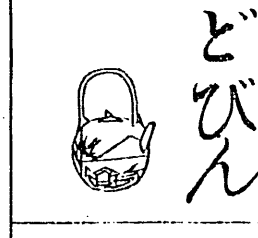
てをけ



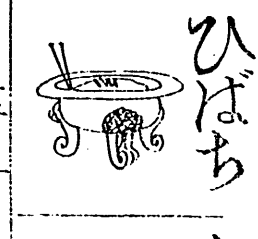
つるべ



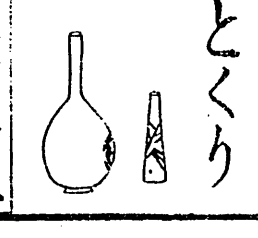
かまど



どびん

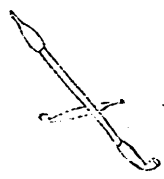


ひばち



とくり

...
...
...



きせる



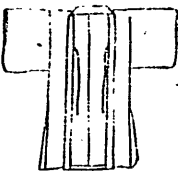
たんす



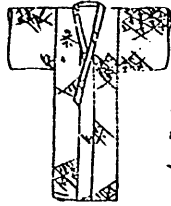
うちば



きもの



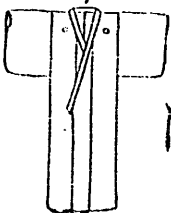
はたけり



ゆかた



はかま



うはぎ



づきん



りんご



みかん



ざくら



いちご



きりり

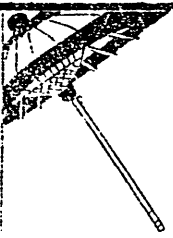
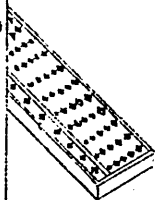
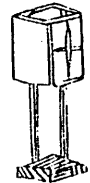


きのこ

たんど だい六



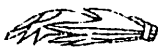
こぶたな てつびん さおづき あんどん ろろばん



からかさ



てぬぐひ



てぶくろ



もひき



あしひら

なんてん すのせん 大げのこ だいこん にんどん



にはとり うぐいす のいー はまぐり あおむし



くすりばい すがくいー めまつばた あせん かり はらかき








なんご だい七




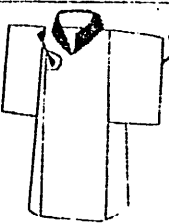

あふぎ はうた 志やうぎ さうー かうー

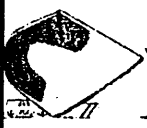
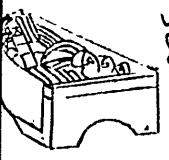





なうー てうー ざうり きふを めうが


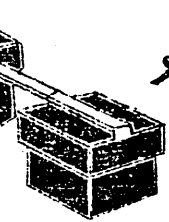


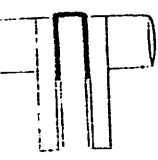
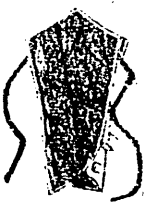
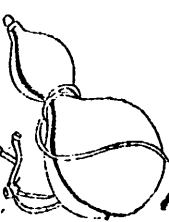

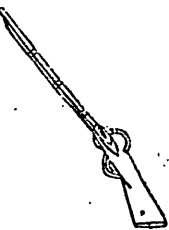
	志やうが
	びやうぬ
	めたう
	ぶたう
	まきやう

	さたう
	みつぶ
	せつた
	みつぞ
	らつは

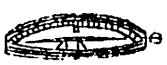
	めつね
	くま
	ちま
	ら
	あ

たんど だのハ

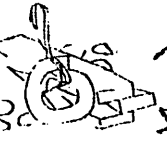
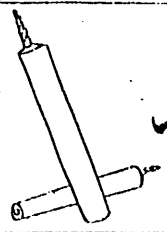
	やうきう
	せうちう
	あいのう
	ゆぶが
	りやう

	あゆめん
	まゆめん
	へうめん
	まうせん
	てつばう

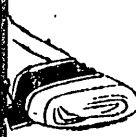
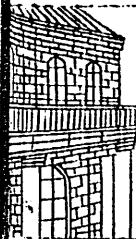
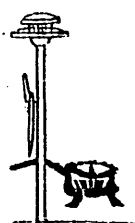
すつおん あまのま 志くゆえ きんたよ ちやがよ



すおんから らふそく かんへう 志んまを きんちやえ



志よあせし 志まんだる 志んへいたけ 志んおせ 志んふらへけつ



短句第一

はな さく○ば ーげる○とら

なく○うを たよぐ○つき いづ

○ひ いる○す ぐりと すすみ

と○いす と つくゑ と○さけ

と さかな と○めー とー

ると○まるとたげと○う
 めとさくらと○たやと
 こと○ちくとけくと○せ
 きぼんとせまひつと

短句第二

ねこにいぬ○うーにうま
 ○とびにからす○あめに
 かぜ○ゆきにとほり○せん
 にわん○うをのひれ○とり
 のはね○すうのふた○
 みづいれのくち○うまの
 うへ○つとゑのした○いへ

のうち○もん のふと○たい
このたど○かねのね

短句第三

うまにのろ○みづにうか
ぶ○にはにあうぶ○うち

ある○いぬはほゆる○ね

こにかまる○とも にさう

はる○ひとにほめらる○いぬ

をうろ○ひとをよぶ○こ

まをまはす○すみをすす

○はなをみる○つきをな

がむ○ほんをよむ○もどを

かく

短句第四

うま ぶり たる○かくかり よ

り かへる○五 ぶり 三 ひく

○三 ぶり 二 ひく○うま

かへる○ほかへ ゆく○も

へ くだる○かみへ のほる

○いきて かへる○かりと

かへす○のほりて くだる○の

りて ける○みて たる

む○きりて よちこぶ

短句第五

雨ふる○風あく○花さく○ゆき

白○くもれる日○はれたる月

○もゝの花○うめのいづ○やな

ぎとさくら○うめにうづひす

○夏はあつ○ふゆはさむ○

春は花さく○ふちはゆきふる

○たおきものは山○ひろきもの

はうみ○鳥が木になく○う

をが水にねよぐ○うまは人

をのす○牛はくるまをひく

短句第六

進むことはなきものはしりごとく
 ことよまたはやし○善人はうら
 みを忘れあくはんは恩を忘る
 ○内うの心をたごくし外
 うのたごなむををさむ○善を
 みてはすみめたごなむ悪を
 みてはたちまちさげよ○けんやく
 ば家ををさむるかなめたごり
 は身をやぶるあご○水は方圓
 の器にしたがひ人は善惡の友
 による

短句第七

高きにのぼるは身きより
 とほきにゆくは近きよりす
 千圓の金をつむといへども
 日のがくもんにしかず
 月日は矢のごとく一たびさうては
 またかへらず
 玉磨かざりては
 は光なり
 人學はずくは智
 なり
 善は小なりといへども
 せざる事なれ
 惡は小なり
 といへども
 なす事勿れ

短句第八

ねこは犬をにくむ
鳥は猫に

ねらるる○猫ねずみをとる○いぬ
 人をまつ○くるまを待つ人あり
 ○車をひくうまあり○馬にの
 りて行くひとあり○人にひか
 れて来る牛あり○かの男は犬
 をかひこは女はねこを愛す
 ○子供はまどの下において書
 物を読み娘はぎきにてゐて
 縫物を習ふ

短句第九

山にそひて低き家あり○川に
 のぞみて高き樓あり○朝は門

を 開き よるは 雨戸 を とつ ○ な
つは 障子 を ひらき 冬は ふすま
を たら ○ 早朝 より 座敷 を 掃ふ
て 客の 来る を まつ ○ 正午 より 出
でて 遠方 の 人 を とふ ○ 雞 子 で
に おけ ども 夜未 あけす ○ 日
既に くるれ ども 人 いまだ かくら
ず

短句第十

春は はな 咲き あさは 虫 鳴く ○
なつ の 日は 暑く 冬 の 風は 寒く
ー ○ はる の 野に 花を み また

鳥の聲をきく○秋の夜に月
 をながめ又虫のこゑを聞く○
 夏の夕流にのぞみてすゞみふ
 ゆれ朝雪をながめてたのしむ
 ○風ふきて庭の花ちり雨ふり
 て池の水ます○日くもりて夜
 の如く月明にして晝に似
 たり

短句第十一

親とは父母の事なり○親の父
 を祖父と云ひ親の母を祖母
 と云ふ○伯父といふは親の兄

弟叔母といふは親の姉妹なり

○親は子をあいし 子供は老人

をうやまふ○兄は弟をたすけ

姉は妹をいつくしむ○兄弟姉妹を

和睦しよく善く父母に事を

は一家繁昌の本なり○親類を

親みまた朋友にまどほる○總べて

人に交るには信を以てすべ

し

短句第十二

まことば貴ぶべくいつばりの賤

むべし○信とは正直のこと偽と

はうろのことなり○見たること
 とを見たりと云ふは信なり
 聞きたることを聞かぬと云ふは
 偽なり○喧嘩と人を偽るとは
 甚悪しき事なり○親に孝なる
 と朋友に信あるとは殊に善き
 道なり人は善道を行へば
 世間に恐るべきものなり

乗算呼聲
ウケゴンのよびこゑ
 おやうばん

一 <small>いん</small>	一 <small>いん</small>	一 <small>いん</small>
七 <small>ガ</small>	四 <small>ガ</small>	一 <small>ガ</small>
七 <small>いん</small>	四 <small>いん</small>	一 <small>いん</small>
一 <small>いん</small>	一 <small>いん</small>	一 <small>いん</small>
八 <small>はちガ</small>	五 <small>ガ</small>	二 <small>ガ</small>
八 <small>いん</small>	五 <small>いん</small>	二 <small>いん</small>
一 <small>いん</small>	一 <small>いん</small>	一 <small>いん</small>
九 <small>ガ</small>	六 <small>ガ</small>	二 <small>ガ</small>
九 <small>いん</small>	六 <small>いん</small>	三 <small>いん</small>

二二リ四二二リ六二四リ八

二五十二六十二二七十四

二八十六二九十八三三リ九

三四十二三五十五リ三十六十八

三七二十一三八リ二十四三九二十七

四四十六四五二十四六二十四

四七二十八四八リ三十二四九三十六

五五二十五五六三十五七三十五

五八リ四十五リ九四十五六六三十六

六七四十二六八四十八六九五十四

七七四十九七八五十六七九六十三

八八リ六十四リ八九七十二九九八十一

同証書員大

二八

加算並減算呼聲

一いち九く足た十じゆ 二に八はち足た十じゆ 三さん七しち足た十じゆ

四し六りく足た十じゆ 五ご五ご足た十じゆ 六ろく四し足た十じゆ

七しち三さん足た十じゆ 八はち二に足た十じゆ 九く一いち足た十じゆ

一いち引ひいて九く残のこり 二に引ひいて八はち残のこり 三さん引ひいて七しち残のこり

四し引ひいて六りく残のこり 五ご引ひいて五ご残のこり 六ろく引ひいて四し残のこり

七しち引ひいて三さん残のこり 八はち引ひいて二に残のこり 九く引ひいて一いち残のこり

除算呼聲 上

一いち進しん一いち十じゆ 二に一いち添そへ作さく五ご 二に進しん一いち十じゆ

三さん一いち三さん十じゆ 三さん二に六りく十じゆ 二に進しん一いち十じゆ

四し一いち二に十じゆ 四し二に添そへ作さく五ご 四し三さん七しち十じゆ

四し進しん一いち十じゆ 五ご一いち加か一いち 五ご二に加か二に

五三加三 五四加四 五進の一十

六ろく一いち下か加か四し | 六二ろくにん三さん二に十二じふに | 六三ろくさん添そへ作しよの五ご

六四ろくしゆ六十ごじゆの四し | 六五ろくご八十じちの二に | 六進の一十

七しち一いち下か加か三さん | 七二しちに下か加か六ろく | 七三しちさん四し十二じふに

七四しちしゆ五十ごじゆの五ご | 七五しちご七十じちのの一いち | 七六しちろく八十じちの四し

七進の一十 | 七八しちぱち一いち下か加か二に | 七八しちぱち二に下か加か四し

八三ぱちさん下か加か六ろく | 八四ぱちしゆ添そへ作しよの五ご | 八五ぱちご六十ごじゆの二に

八六ぱちろく七十ごじちの四し | 八七ぱちしち八十じちの六ろく | 八進の一十

九きゆう一いち下か加か一いち | 九二きゆうに下か加か二に | 九三きゆうさん下か加か三さん

九四きゆうしゆ下か加か四し | 九五きゆうご下か加か五ご | 九六きゆうろく下か加か六ろく

九七きゆうしち下か加か七しち | 九八きゆうぱち下か加か八ぱち | 九進の一十

除算呼聲 下

增補言ノ階梯
算用數字

見一カ 無頭ム作九ク一イチ 歸カ一倍イチ一イチ

見二 無頭作九ク二ニ 歸カ一倍イチ二ニ

見三 無頭作九ク三サン 歸カ一倍イチ三サン

見四 無頭作九ク四シ 歸カ一倍イチ四シ

見五 無頭作九ク五ゴ 歸カ一倍イチ五ゴ

見六 無頭作九ク六ロク 歸カ一倍イチ六ロク

見七 無頭作九ク七シチ 歸カ一倍イチ七シチ

見八 無頭作九ク八ハチ 歸カ一倍イチ八ハチ

見九 無頭作九ク九ク 歸カ一倍イチ九ク

算用數字

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

訂正 增補 讀本階梯 終

三十一

增補讀本階梯

明治十五年十二月廿七日 版權免許

同十五年十二月 出版

同二十年十月五日 訂正再版御届

同二十年十月 出版

定價金九錢

著者及出版人

熊本縣士族

辻敬之

東京下谷區練堀町十四番地

發兌

普及舎

東京下谷區練堀町十四番地

博文堂庄左衛門

東京本郷區本郷元町二丁目五番地

奎文堂野口愛

東京日本區吳服町六番地



書估